

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-201	Year Month Day Time 2007 年 5 月 3 日 8 : 20
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
秋田選抜	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>15</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>10</td><td>3rd</td><td>21</td></tr> <tr><td>28</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	21	1st	20	15	2nd	19	10	3rd	21	28	4th	8		OT		昭和学院高
21	1st	20															
15	2nd	19															
10	3rd	21															
28	4th	8															
	OT																
74		68															
○		●															

主審:Referee
岩田 千奈美 (東京)
副審:Umpire
小川 裕之 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
花輪高校 (女子)

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	遠藤 梓	CAP	15	5	0	0	1	4	×	久野 絢子	CAP	15	1	6	0	0
5		天野 紗智		-	-	-	-	-	5	×	小林 礼奈		6	1	1	1	2
6		斉藤 渚		-	-	-	-	-	6	／	渋谷 彩		6	0	1	4	4
7	／	笹木 香澄		2	0	1	0	3	7	／	菅田 有子		2	0	1	0	-
8	×	山谷 美架		3	1	0	0	0	8		元山 夏菜		-	-	-	-	-
9	／	加藤 志織		0	0	0	0	2	9	×	北館 美保		8	0	4	0	0
10	／	大石 美早紀		9	0	4	1	1	10	×	大河原 晶子		27	0	10	7	3
11	×	二田 佳奈		2	0	1	0	2	11		斉藤 玲奈		-	-	-	-	-
12	×	工藤 梢		4	0	2	0	3	12	×	松本 貴和レシエル		0	0	0	0	1
13	／	菊池 亜寿沙		17	3	4	0	2	13		広野 由香里		-	-	-	-	-
14	／	伊賀 春奈		0	0	0	0	0	14		眞茅 昂衣子		-	-	-	-	-
15		黒澤 早苗		-	-	-	-	-	15		森戸 理紗		-	-	-	-	-
16	×	高橋 彩		9	0	3	3	4	16		斉藤 由果		-	-	-	-	-
17	／	米川 佳穂		6	0	2	2	1	17	／	長尾 彩美		4	0	2	0	1
18	／	眞田 ひかる		7	1	2	0	0	18		馬場 夏美		-	-	-	-	-
コーチ		嘉藤 喜隆							コーチ		鈴木 親光						
Aコーチ		樋渡 真							Aコーチ		野村 由季						
合計				74	10	19	6	19	合計				68	2	25	12	11

※×:スター / 交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

今年秋田で開催される秋田わか杉国体の少女女子秋田県選抜チームが能代カップに登場する。対戦相手は名門昭和学院である。

第1Q秋田も昭和学院もともにマンツーマンディフェンスでスタートする。昭和学院が#10大河原のジャンプシュートやゴール下で得点すれば、秋田も#4遠藤のスリーポイントや#16斉藤のジャンプシュートで反撃する。秋田は#16高橋のポストプレイや#8山谷のスリーポイントで一時11対4と7点のリードを奪う。しかし昭和学院も#10大河原や#5小林のジャンプシュートで反撃し、タイムアウトを取った残り2分50秒のところでは14対14の同点に追いつく。ここからは一進一退の攻防が続く。結局21対20の秋田1点リードで終了する。

第2Q立ち上がり昭和学院は、#9北館がスティールからの速攻を決めていきなり逆転する。しかし秋田も#4遠藤がすかさずスリーポイントを決め返す。ここからオールコートディフェンスを展開する秋田が少しずつペースをつかむ。#12工藤のカットインや#11二田のポストプレイなどで再び7点リードをする。残り7分15秒のところでは秋田がメンバーを全員入れ替える。ここから少しずつ昭和学院がペースをつかみ、#10大河原の攻撃を中心に残り4分2秒のところでは逆転に成功する。結局第2Qは36対39の昭和学院3点リードで終了する。

第3Qも両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。秋田はメンバーをスタートに戻すが昭和学院のペースを変えることができない。秋田は残り7分55秒のところでは36対43と昭和学院に7点リードを許し、タイムアウトを取る。その後秋田はオールコートディフェンスでプレッシャーをかけて#4遠藤のスリーポイントで得点するが、なかなか主導権を握ることができない。昭和学院は#10大河原のジャンプシュートや#4久野のスリーポイントなどでジリジリと点差を引き離していく。結局第3Qは46対60と昭和学院の14点リードで終わる。

第4Q秋田はオールコートディフェンスを展開し、昭和学院に反撃する。#10大石のジャンプシュートや#13菊池のスリーポイントで得点し、51対60と9点差に迫る。昭和学院は残り7分59秒のところではタイムアウトを取りペースを変えようとする。しかし秋田の反撃が続く。#7笹木のゴール下のシュートや#13菊池のリバウンドシュートなどで残り5分40秒のところでは、60対62の2点差とする。残り4分10秒に秋田はタイムアウトを取るが、秋田のペースは変わらず、ついに残り2分10秒#17米川のゴール下で68対66と逆転する。ここから昭和学院も激しいディフェンスを。秋田は一時14点差をつけられたが、粘り強く反撃して逆転した試合であった。